



『もっと！！本野通信』

No.86

諫早市立本野小学校長 永 井 洋

小体連参観の注意です（ご理解ご協力をお願いします）

今月初めに配付していましたが、もう一度確認をさせていただきます。小体連（28日）の参観上の留意点です。

- ① グラウンド内には立ち入れません。スタンド（3階席）でご観覧ください。
- ② グラウンド内での写真撮影者は許可制になっています。
- ③ ご観覧、応援のマナーについては十分ご注意ください。
- ④ 撮影した画像・映像を SNS 等に投稿しないでください。
- ⑤ 会場内への車の乗り入れはできません。会場は、ほかの団体や一般の方も利用されますので、指定された駐車場を利用してください。（第1・第3・第4・第5・第6・第7駐車場などは駐車可能です）できるだけ乗り合わせをお願いします。



天気予報によると、絶好の競技日和になりそうです。子どもたちの頑張りに是非ご声援をいただきたいと思います。

不易と流行①（かたい話になりますが…。）

今から、教育現場は大きな転換期を迎えます。教師不足、考えられないような不祥事の多発…。我が国の良さの一つである、教育の機会均等（義務教育の充実）はこれからどこに向かうのだろうかとよく不安になります。

国は10年をめぐり、義務教育の指針となる「学習指導要領」を改定していきます。これには、目の前の子どもたちにあった、最適な学びを保障しようという動きが前提にあります。では、日本の教育はどのような変遷をたどってきたのかを紹介します。



1978年(昭和53年)	「ゆとり教育（学校裁量の時間）の充実」「授業時数・指導内容削減」
1898年(昭和63年)	「新しい学力観」「社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成」 「小学校で生活科新設」
1998年(平成10年)	「学校週五日制の全面実施」「授業時数削減・内容の精選」「生きる力を育む教育」「総合的な学習の時間新設」
2008年(平成20年)	「生きる力という理念は継承しつつ、確かな学力を確立」「授業時数増加」「小学校高学年で外国語活動新設」「道徳の教科化（2015年）」
2018年(平成30年)	「資質能力の3本柱（①学びに向かう力人間性②知識技能③思考、判断、表現力）の育成」「主体的・対話的で深い学びの推進」

これは一部ですが、教育界は「振り子」のように動いているといつも感じています。

次号へ続く